



# クリスマス国際交流 DAY 実施報告



## <目的・ねらい>

県内の高校生を対象とする国際理解プログラムで、世界の現状や異文化について理解を深め、自分自身の将来について考えられるような機会を提供する。アイパル・JICA 共催事業。

- 日時: 12/25 (水) 13:00~16:00
- 場所: アイパル香川 中 2 階交流フロアー
- 第 1 部 世界のクリスマスを知ろう
- 第 2 部 世界のクリスマスを体験しよう

## 第 1 部

県内の各高校から17名の生徒が参加。講座開始前には、事前課題で作成した「クリスマスカード」を生徒同士で交換し、「初めまして」の他校生と交流しながら過ごしました。そして、計10名のゲスト・講師の自己紹介から講座がスタート。



最初はアイスブレイクとして、制限時間の中でできるだけ多くの人と自己紹介し合う「人間 BINGO」を行いました。最初は緊張していたゲストや高校生も、お互いの自己紹介で出てくる共通点や意外なエピソードに笑顔がこぼれ、少しずつ空気が和らいでいきました。

続いて、去年の 10 月にブラジルから来県した海外技術研修員の「イザベラ・パヴァン」さんからブラジルでのクリスマスについてお話を聞きました。イザベラさんが住んでいる故郷のことやブラジルでのクリスマスの祝い方・クリスマスならではのスイーツなど、魅力いっぱいのお話に高校生も聞き入っていました。

また、カナダ出身でアイパル外国語講座の講師でもある「イアン・アイアス」さんからはカナダでのクリスマスについてクイズ形式でお話を聞きました。ゲストも高校生も楽しくクイズに参加しながら、カナダのクリスマスを学び、イアンさんが撮影したドローン映像などでカナダの街並みや自然の美しさを感じました。



## 第2部

第2部はグループ対抗の「絵の伝言」ゲームからスタート。「絵の伝言」ゲームとは、お互いの絵を見て、お題が何か考えながら、グループで答えを導くゲーム。それぞれ四苦八苦しながらも、メンバー間でフォローし合い、各グループが頑張って正解を目指しました。ゲーム中は、お互いの個性溢れる絵心に思わず笑いが起こる場面もあり、少しずつ距離が縮まっていく様子が見られました。



グループごとに分かれてのフリートークでは、ブラジルの定番のクリスマスケーキ「パネトーネ」やカナダの定番のお菓子「メープルクッキー」も試食しました。甘いスイーツと温かい飲み物を囲みながら、ゲストから出身の国やクリスマスについてお話を聞いたり、高校生が質問をしたりと、各グループで楽しく交流する姿が見られました。

フリートークの後はクリスマスに欠かせない「プレゼント交換」も行いました。みんなで輪になり、「フェリス・ナビダ」の曲のリズムに合わせて、お互いが持って来たプレゼントを回しました。



最後は JICA 四国香川デスクの「由地一樹」さんより、セルビアのクリスマスや JICA 海外協力隊についてのお話を聞き、全内容が終了。イベント終了後も、クリスマスカードをゲストや講師へ渡しに行ったり、写真を撮りあったりと、楽しそうに交流を続ける姿がありました。

### <高校生の感想>

- ・英語だけでなく、他の言語や文化について学べ、とても楽しかった。
- ・他国では日本よりもクリスマスのイベントが大きく行われていることを知り、実際に海外に行って参加したいと思った。
- ・海外のお菓子を実際に食べることで、文化を身近に感じられた。
- ・他の国の文化や言語についてもっと知りたいと思った。

